

妄想才口伝2



……ごめんなさいっ！

ごめんなさいっ！

私何も知らなくて……

何も知らんだとお？

貴様が雑兵ではないことくらい

見れば分かるわ！

ひらりー！

人間どもの情報を持っているに

違いな

……に助けも来るまいよ

覚悟しろ

た……助けて……っ

メメッ

メメッ

ある日、戦国時代の英傑たちが突如として姿を消した。人間とは違う超常の力によってあらゆる強者が集められ、そして井伊直虎も例外ではなく巻き込まれる形となった。しかし、不運にも仲間たちと合流を果たすことが出来ず、人知れずに妖魔に捕らえられてしまう。そして妖魔は彼女から人間たちの情報を引き出すべく、苛烈な拷問を開始する。

た…食べないでくださいいの

本当に何も知らないんですっ！

どう言ってもらわれるのよ

今のうちだ

こいつらにたっぷり

可愛がってもらうんだな

ほ…本当なのにつ

グハッ

グハッ

グハッ





どしどしー

ズクズク

食べないでっ！

ひりひり

か…甲冑が…っ

ズクズク

ズクズク

ズクズク

ああっ！

ビクッ

な…なんで…

こんな…ひどらこと…

人間など

どうなるうと構わん

仮に貴様が情報を持たずとも

人間が一人減るだけだからな

そ…そんな…

ガッパッ

アッパッ

アッパッ





ちー近づかないでっ

はー離してくださいっ

私は何も...

私を...どうするんですか!?



ひ…広げないで…り

ズ
グ
ッ

何するつもりなんですか!?

な…なんでそんなとこ…

あっ!

あっ

お

お
お
お

ん
ん
ん



グッ

グッ

グッ

グッ

なんでそんな...

アッ!

アッ!

グッ

アッ



ああっ!

ひあああっ!

やめ...

やっ

あああっ!

ツツツツツ

ツツツツツ

ツツツツツ

ツツツツツ

ツツツツツ

まだ音を上げないか

まあいい

貴様が死ぬまで

こいつらが遊んでくれるだろうよ

そんな...

な...何も知らないんですっ

助けてくださいっ!!

ふんっ

じきにわかることだ

それにしても

人間てのは臭くてかなわんな

ぐわんぐわん

グイグイ

ぐぽっ

んあな





はっ...ああつ!

スッスッスッ

あああつ!

あつぐ

スッスッ

は...入ってこないで!

ああつ!

くだら...

スッ

スッ

スッ

スッ



ひあああつ!

あつぐり

あつああつ!

あつ!

はつあつ!

ツツツツツ

ツツツツツ

ツツツ

ツツツツツ

ツツツツツ

ツツツ

ツツツツツ

ツツツ

…しばらく後

ガッパッ

あーあ
ひでーニオイだ

クワッ
クワッ

クワッ

クワッ

クワッ
クワッ

クワッ
クワッ

まだ情報を隠しているかもしれないぞ

とりあえず殺すんじゃないぞ



ひいっ!

こゝ今度は何を...

やっ!

すゝ吸わないでくださ...

ああっ!

ズ
ツ
ツ

ズ
ツ
ツ

ズ
ツ
ツ

ズ
ツ
ツ

ズ
ツ
ツ



んんんっ!

んんっ!

んんっ!?

い...いやっ!

んんんっ!

んんんっ!

んんんっ!

んんんっ!

んんんっ!



んおつ!

んんんつ!

んぐつ!

んんんんつ!

んんんんつ!

んんんんつ!

んんんんつ!

んんんんつ!

んんんんつ!

んんんんつ!



うぐうぐう

ムギッ
ムギッ
ムギッ

もう……許してください……

まだまだだな

やはりお前はそこらの雑兵じゃない

……っ！

ガッ
ガッ
ガッ

ズズズ

ひ……ひ……

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ



んんっ!

んっ!

んんんっ!

んんっ!

んぶうっ!

んんんっ!

んんんっ!

んんんっ!

んんんっ!

んんんっ!

んんんっ!



んんんっ!

んおおおっ!

んおっ!

んっ!

ンンンン
ンンンン
ンンンン
ンンンン

ンンンン
ンンンン
ンンンン
ンンンン

ンンンン
ンンンン
ンンンン
ンンンン

ンンンン
ンンンン
ンンンン
ンンンン

ンンンン
ンンンン
ンンンン
ンンンン



ウネウネ

やつ!

びび

お尻の穴…広げちゃ…っ

ダメダメっ

ほ…ほじくらないで…っ

やめ…てっ!

やめてえっ!

ズク

ズク



スゥ...物スゥ...

アッ
アッ
アッ

スゥ...

アッ
アッ
アッ

スゥ...

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ



...あつ...あつ

ズンズンズン

...かつ...はつ

...あつ

ズンズンズン

ズンズンズン

ガクガク



アッ!

アッ!

アッ!

アッ!

アッ!

アッ!

アッ...

...

...

...



ああっ！

あああっ！

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

も...も...も...

耐えられな...いの

ですわー！





ああっ！

ああああっ！

はっ…ああっ！

ああああっ！

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ



背骨
肋骨
胸椎
腰椎

肩甲骨
鎖骨

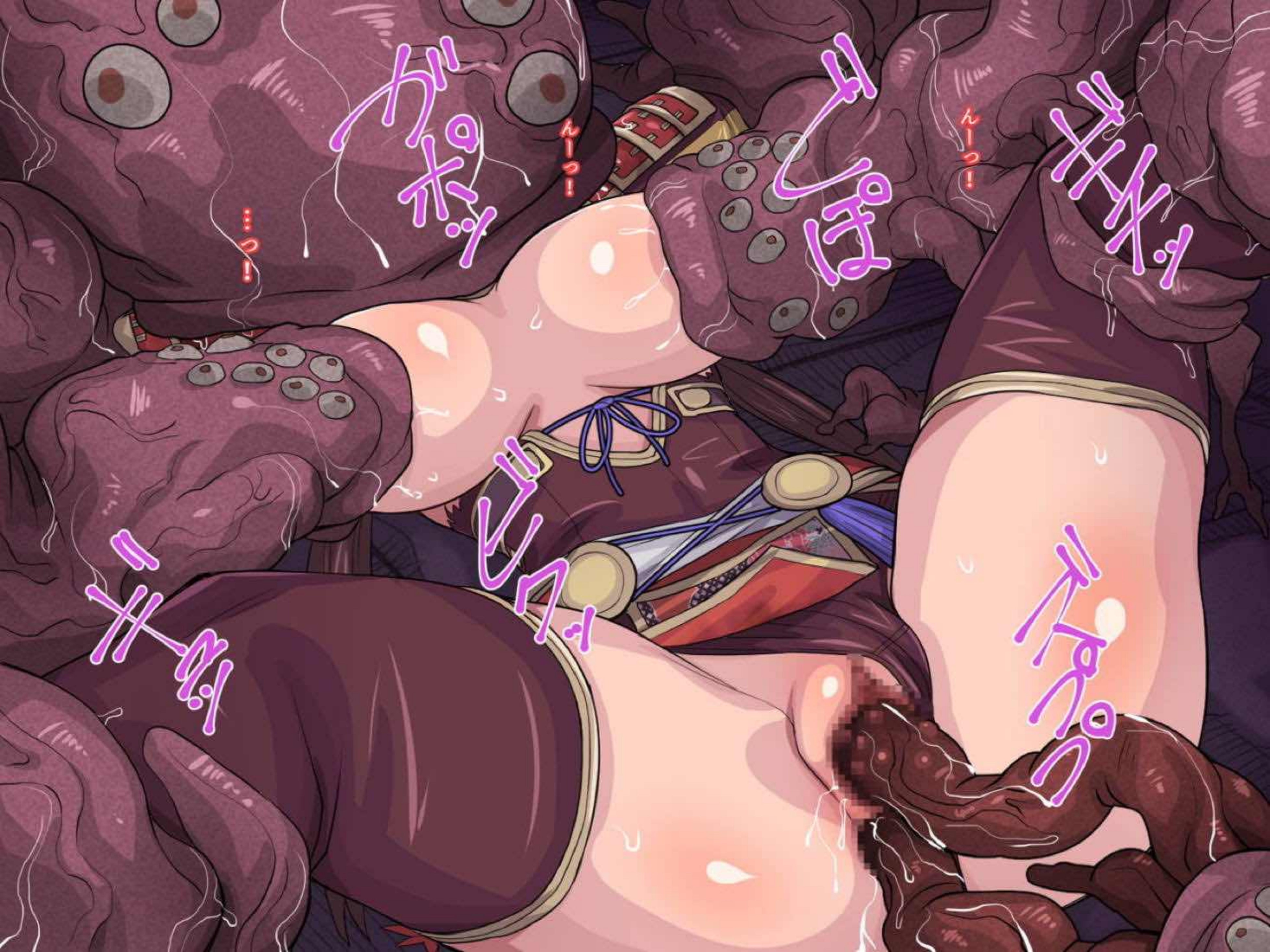
肋骨
胸椎

肋骨
胸椎
腰椎

肋骨
胸椎
腰椎

!

!



ガホッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

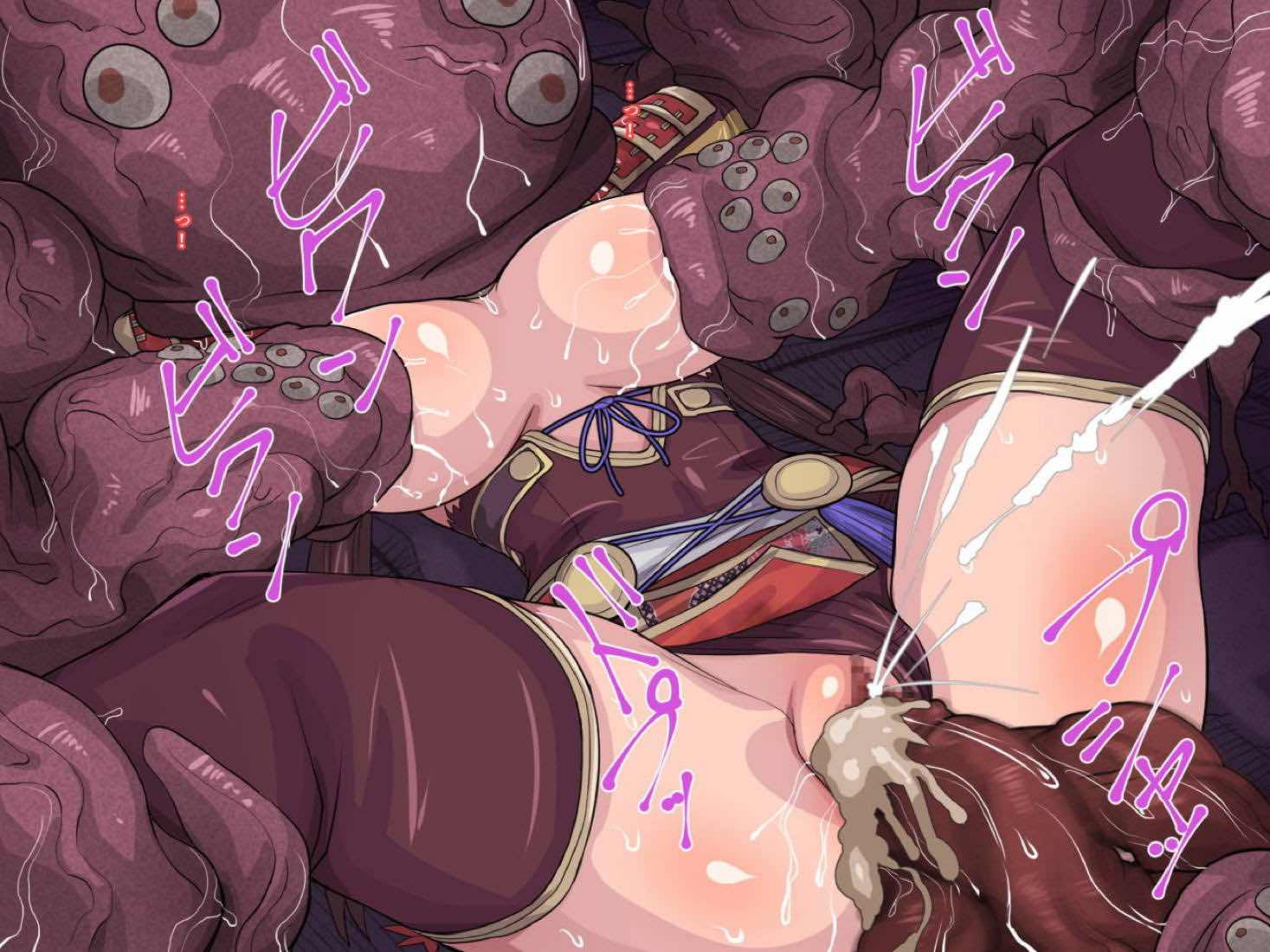
ハッ

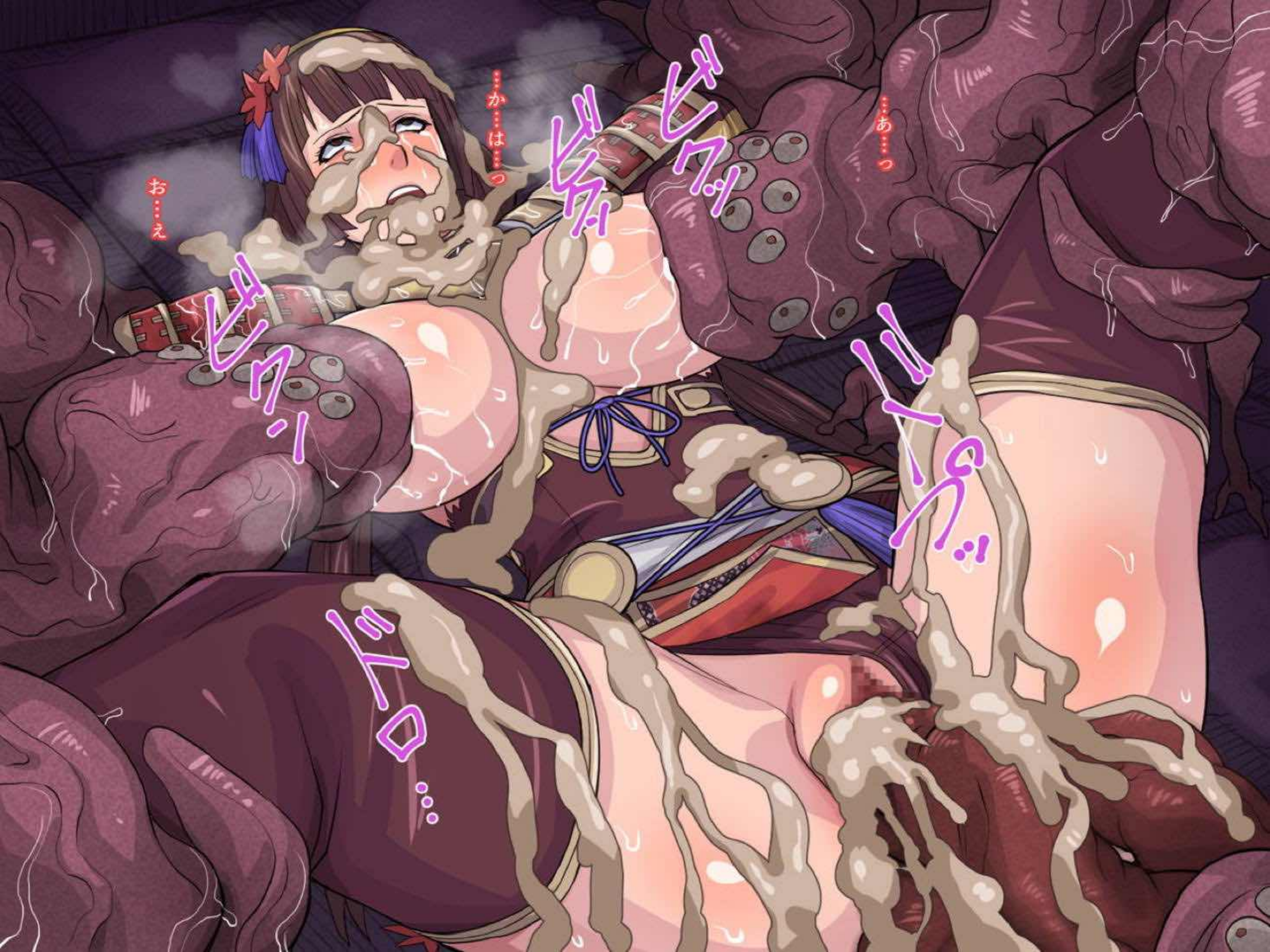
ハッ

ハッ

ハッ







お...え

か...は...の

あ...の

ビュッ
ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ
ビュッ

か…厠…に…

行かせ…で…ください…

ギギギギ

ひびひび…

我らの居城を

人間ごときの糞で

汚すことはない

ストン

で…出ちやい…まする…

ちよんちよん

その雑魚に食ってもらうがいら

そいつは何でも食っちゃう低能だからな

く…食のて…のて…!!

やっ…ダメですっ!!

ストン

ストン

ストン





あああああつ！

あああつ！

それじや精々がんぼりな

こぼすんじやねーぞ

汚ねー汚ねー

おーおー

いーいーいやあつ！

んっぐうううー！

んっぐううー！

ムムム

毛毛毛

ズモモモ

ムムム

ムムム



が
ホ

んーんー

んーんー

んーんー

んーんー

アッ
グ

アッ
グ

アッ
グ



クワッ
クワッ
クワッ

ウッ
ウッ
ウッ

クワッ
クワッ
クワッ
クワッ
クワッ

クワッ
クワッ
クワッ
クワッ
クワッ

ウッ
ウッ
ウッ
ウッ
ウッ

だ…誰か助けて…

ひび…ひび

ズズズズ

クチュ

グダグダ

うろろ

ふんっ

人間どもの情報を渡せば

楽になれるものを

何も…

し…知らない…です

その余裕もいつまで続くかな

ち…違っ

違うのヒー

くぱあ

ムキムキ





やあつ!

ククク

やめてくださー!

や...やめてえつ!

やめてっ!

やめてっ!

やつ...あああつ!

ククク

ククク

ククク

ククク





もういや...ですっ!!

やっ

や...やめてえっ!!

ひゃああっ

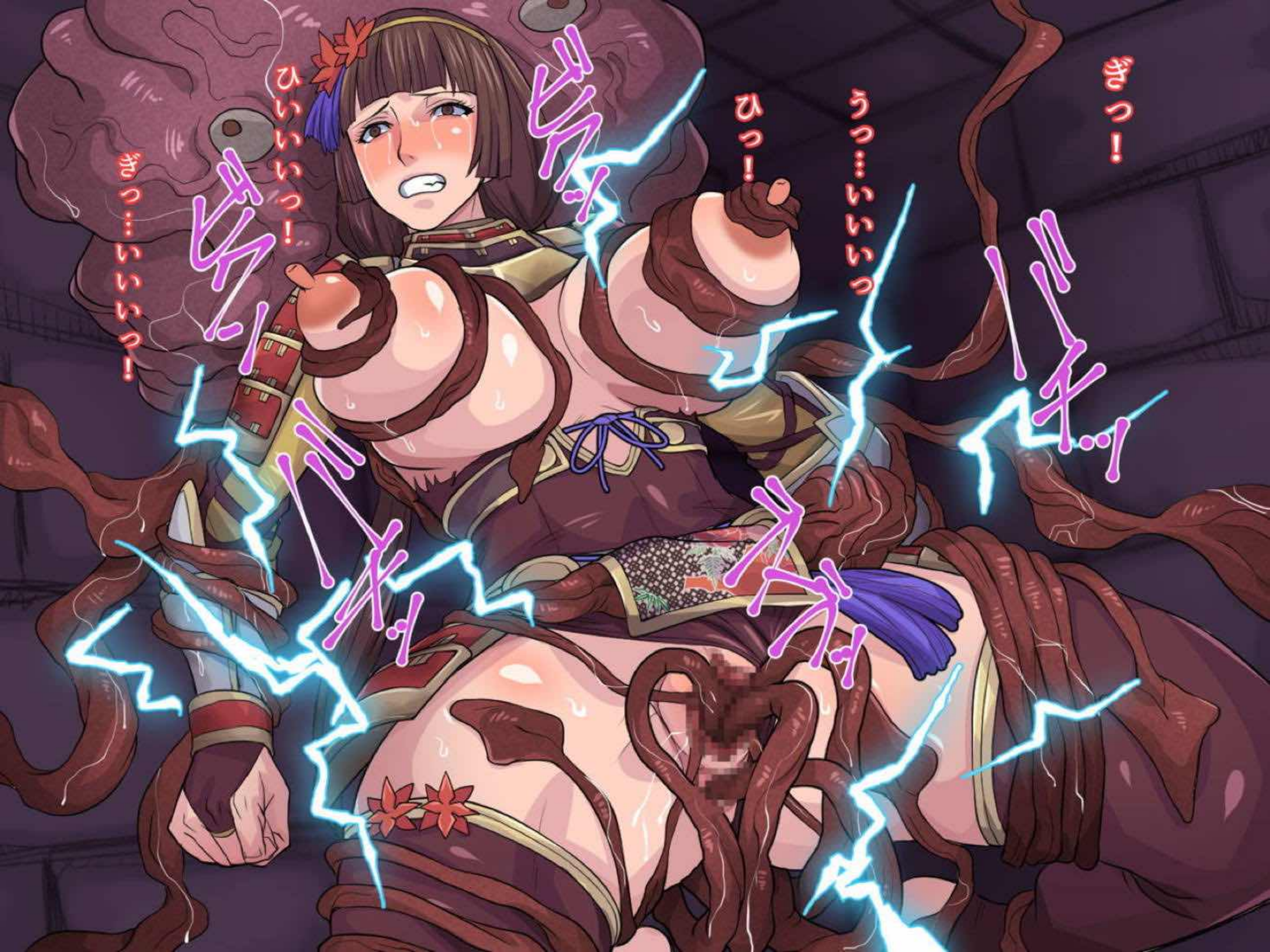
放してくださいっ!!

ヒッパッ

アッ

ヒッパッ

ヒッパッ



カッ

カッ

カッ

カッ

カッ

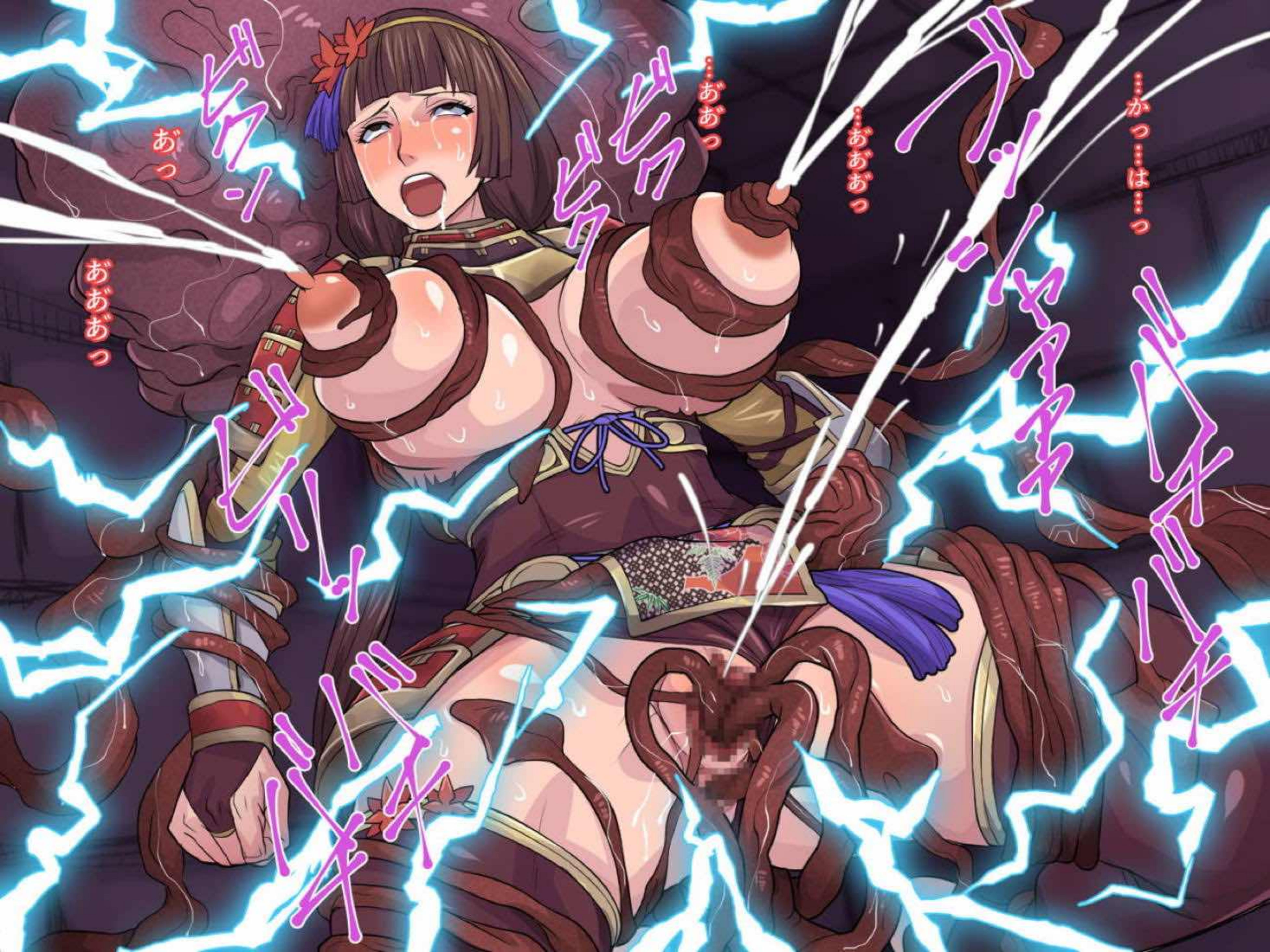
カッ

カッ

カッ

カッ

カッ



あつ

あああ

あああ

かっは

あああ



あつあつあつ!

あり

いやっ!

やめっー!

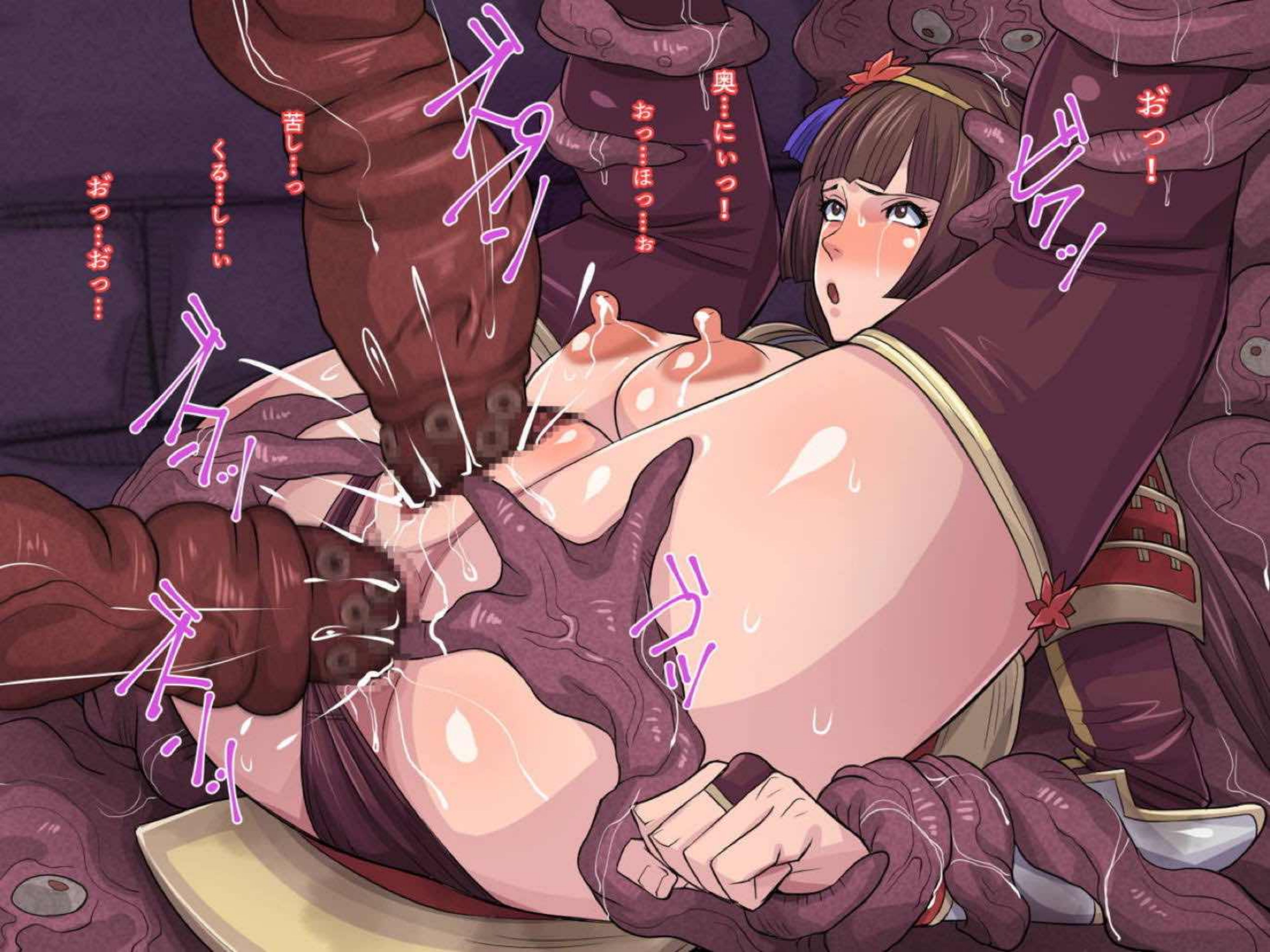
やめっ

ググググ
ググググ
ググググ

ググググ
ググググ
ググググ

グググ
グググ
グググ

グググ
グググ
グググ



おっ！

奥…に…いっ！

おっ…ほり…お

おっ！

おっ！

おっ…おっ…

おっ！

おっ！

おっ！

おっ！

おっ！



ああ

おっ

あああ

ズズズ

ビュッ

ビュッ

おっ

ハッ

グググ

ガッ



はあ...はあ...

やめ...て...

おねが...い...です

はあ...はあ...

おねが...い...します...

ジュクッ

あう

あつ

クキッ

クキッ

クキッ

クキッ

呑気なものだな

こいつらの精液が身体に染み込み

妖魔の子を生せる身体に

変質しかかっているというのに

えっ…えっ!!

つまりは苗床だ

貴様の意識も消えるだろう

なっ…

やっ…

いやですっ!!



ふりふり……ふりふり……

だー出さなきやつー!

もう無駄だと思うが

これでも口を割らないとは

見上げたものだな

うん……うん……

!!!





ああああっ！

ああああっ！

あっ！

やっ！

ギョッ

ギョッ

ギョッ

ギョッ



あが...あ...あ

あつ

あが...あ...あ

おっ...おっ...おっ

あつ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

キクッ

キクッ

グッ

ムネムネ

そいつが頭を弄る限り

気を失うことすら許されん

早々に飽きるのを祈るんだな

…聞こえておらんか

ゴッゴッ

びびびび

あつ…あつあつ

あつあつあつ

ムネムネ

ムネムネ

ムネムネ





おおおっ

ギョッギョッ

ギョッギョッ

ゴッゴッ

ギョッ

ギョッ

おおっ

おおおっ!

ギョッギョッ

ギョッ



あひ...あひ...
グワッ
グワッ
グワッ
グワッ
グワッ

グワッ
グワッ
グワッ
グワッ
グワッ

グワッ
グワッ
グワッ

グワッ
グワッ
グワッ

あひ

グワッ
グワッ
グワッ
グワッ
グワッ

かは

もうお前は用済みになった

そいつらの玩具として過すが良い

そ…そんな…

助けてください…っ

お…お願い…です…

人間たちの

恐ろしく最後の拠点が見つかった

…っ…っ…っ

もうこんな部屋に見回りに来ることもない

ま…待っててくださいっ！

あーん

あーん

あーん

あーん





いやですっ!

やだっ!

やめてくださっ!

やめ...

びしょ!

ぐわ
ぐわ
ぐわ

ぐわ
ぐわ
ぐわ

ぐわ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ



グッ
グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ



カクッ

カクッ

カクッ

カクッ

カクッ



不運にも捕らえられていた井伊直虎は、抵抗も空しく巨大な妖魔に呑み込まれてしまった。

妖魔の体内には瘴気が充満し、弱る直虎の精神を決定的に破壊してしまふ。

彼女にまともな意識は残っておらず、触手の責めにただビクビクと身体を跳ねさせるだけのモノに成り果ててしまった。

とある仙人の登場で仲間たちの救出は進んだが、直虎に関しては誰も情報を持っておらず、彼女が救出されることはついぞ無かった。